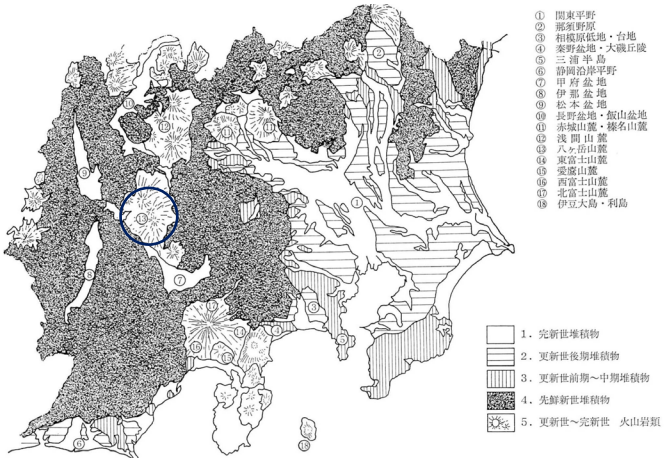
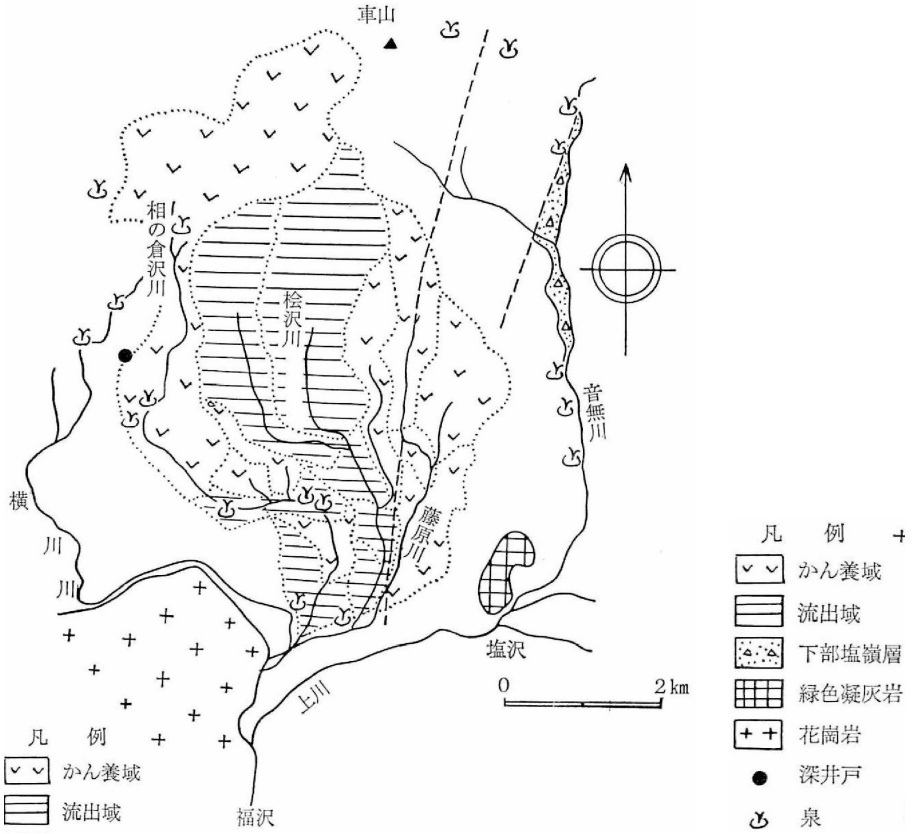
13.八ヶ岳山麓



地形・地質

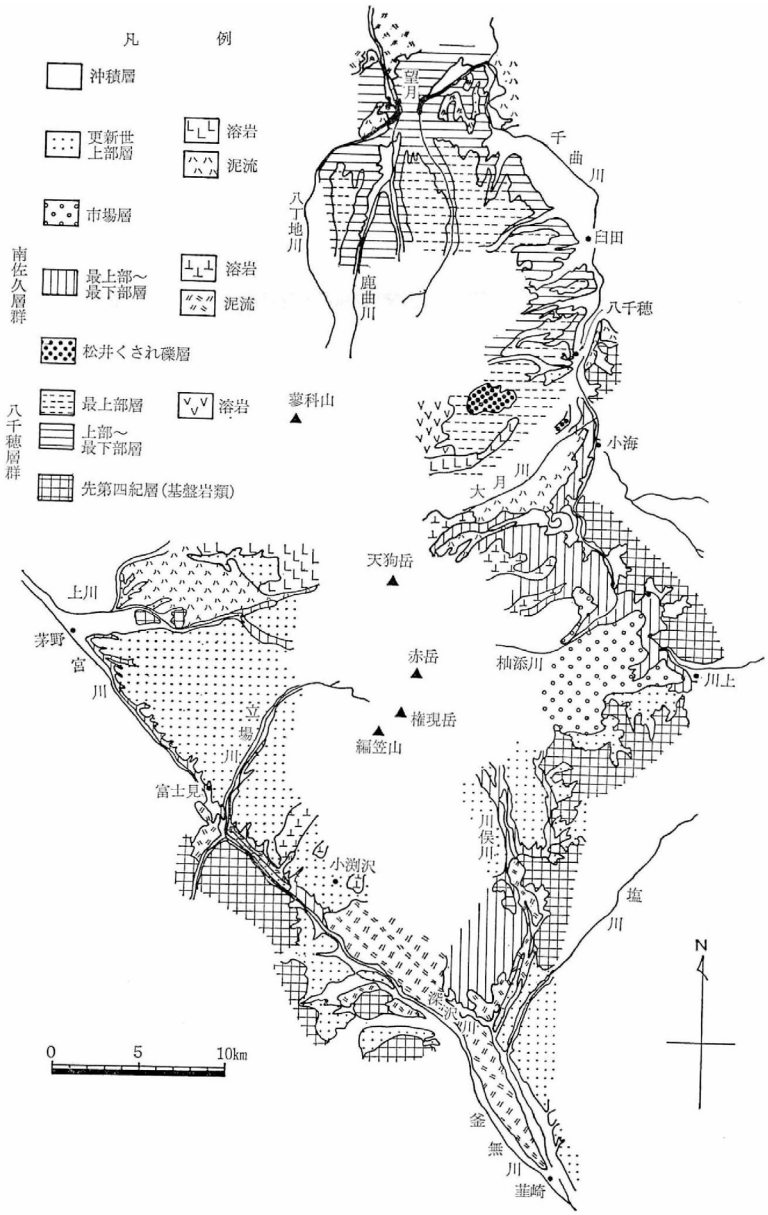
八ヶ岳は，地理的に本州のほぼ中央部を占める複式火山です。火山噴出物は東西に最大幅約 35km，南北 60km の範囲に広がっています。火山山麓の広大な緩斜面や高位部の溶岩台地は放牧地や農地として開発され利用されてきました。



霧ヶ峰地域の湧水の分布と地下水の涵養区，流出区

地下水

霧ヶ峯地域の車山の南麓の地下水は，上部塩嶺層に賦存し，台地の縁辺部や河川沿いに湧水として湧出しています。北～北東麓地域では河谷沿いに湧泉がみられ，深井戸があります。南～南東麓地域に分布する井戸は，上部層と最上部層から採水しています。西麓地域の井戸は南佐久層群最上部累層中に掘削されています。



八ヶ岳山麓の地質図

出典　日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater_database/（日本地下水学会）